



2026年5月13日

会社名 株式会社データ・アプリケーション
代表者名 代表取締役社長執行役員 安原 武志
(コード番号：3848)
問合せ先 執行役員 経営企画管理本部長 矢下 秀行
(電話：03-6370-0909)

2026年3月期連結業績と予想値並びに前期実績との差異に関するお知らせ

2025年5月12日公表の2025年3月期決算短信において開示した2026年3月期連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)の業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。なお、経常利益と親会社株主に帰属する当期純利益に関しては、業績予想を非開示としておりましたため、前期実績との差異を下記の通りお知らせします。

記

1. 2026年3月期連結業績と予想値並びに前期実績との差異

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回予想(A)	4,500	280	-	-	-
当期実績(B) (2026年3月期)	4,322	276	324	156	円 銭 24.57
増減額(B-A)	▲178	▲4	-	-	-
増減率(%)	▲3.96%	▲1.43%	-	-	-
前期実績 (2025年3月期)	2,607	329	360	268	円 銭 43.37

2. 差異の理由

売上高は、ソフトウェア事業において売り切り型からサブスクリプション移行を進めたことに加え、当期はサブスクリプションの大型案件が少なく規模が縮小したこと、さらに子会社において売上計上基準を調整したことも影響しましたが、概ね計画値と同等の水準となりました。

営業利益は、のれん償却費の継続的な計上はあるものの、コスト管理を徹底し、適正なコストコントロールの実施により、概ね計画値と同等の水準となりました。

経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益に関しては、当社は3社グループに迎え入れ、PMI (Post Merger Integration) を推進しておりました。統合初期段階における予算管理体制の統一化作業等により、現時点でグループ全体での統一かつ信頼性の高い「経常利益」「親会社株主に帰属する当期純利益」等の業績予想算定は困難な状況にあるため、投資家保護の観点から、非開示としていました。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、連結子会社の取得に伴い非支配株主に帰属する利益が増加したことにより減少したことに加え、特別損失が前期比で増加したこと等により、前期実績を下回る結果となりました。

以上